**幼児礼拝8月②**

**聖書②：最初の人間（アダムとエバ）**

きょうは聖書の中の「アダムとエバ」のお話をしましょう。

前のお話では、神様が最後に人間のアダムとエバをつくられたお話を聞きましたね。今日は、その、最初の人間のアダムとエバのお話しをしたいと思います。

神様は、アダムとエバを創造したあと、緑があふれる美しい場所をつくり、エデンの園と名付けました。エデンの園には、たくさんの動物がいるし、おいしい果物もたくさんあります。

神様は、アダムとエバをエデンの園につれてきました。そして、そこで、よく食べて、よく遊んで、幸せにくらすことを願われたのです。

ところで、そのエデンの園には、2本の木がありました。「生命の木」と「善悪を知る木」です。神様はアダムとエバに対して、エデンの園にある、たくさんの果物を自由に食べてもいいけど、「善悪を知る木の実だけは、とってたべてはいけないよ」と言われました。

アダムとエバは、神様の約束をまもりながらすくすくと育ちました。

ところが、ある日、ヘビがエバのところにやってきて、こういいました。

「ほんとうに神様が木の実をとって食べてはならないといったの？」

エバは「ええそうよ」と言いました。

すると、ヘビは「本当はたべてもいいんだよ。おいしそうだろう？」といいました。

エバは「神様との約束があるから食べないわ」と言いました。

でもヘビは何度もやってきて、そして、「木の実を食べたら神様のように頭がよくなるよ」と言いました。

最初は、断っていたエバでしたが、「ちょっとだけなら食べてもいいかなと思い」、なんと、木の実を食べてしまったのです！

そして、エバは、木の実をアダムにもあげて食べさせてしまいました。

アダムとエバは神様との約束を破ってしまったのです。これによって、神様との約束を守らなかったアダムとエバの心の中に、「悪い心」が入ってしまいました。

アダムとエバは、神様に隠れて、こっそりと木の実をたべたつもりでした。

でも神様は、すべてご存じでした。神様はとても悲しまれました。愛する息子と愛する娘に裏切られてしまったからです。

そして、「悪い心」がはいってしまったアダムとエバは、もう、エデンの園にいることができなくなってしまいました。アダムとエバはエデンの園から出て行ってしまったのです。

では、エバにうそをついて木の実を食べさせた蛇はいったいなんだったのでしょうか？それは神様のお手伝いをしていた天使長ルーシェルです。

ルーシェルは神様からたくさん愛されているエバをみて、「いいな、うらやましいな。僕もエバみたいに神様にたくさん愛されたいな」という気持ちになりました。そしてエバを悪い方に引っ張ってしまったのです。ルーシェルもエデンの園から出ていきました。そして、「サタン」という名前になって、人々に悪いことをさせるようになりました。

今まで、たくさんの人が喧嘩をしたり、あらそったりしてきました。

今も世の中では悪いことがたくさん起きています。

それは、じつは「サタン」が人々に悪いことをさせているのです。では、どうしたらサタンに勝つことができるでしょうか？

一番は、神様にお祈りをすることです。

二番は、訓読をすることです。

三番は、礼拝で神様のことを一杯勉強することです。

四番は、困ったことがあったら、お父さんお母さんに相談をすることです。

みんながわからないことがあったり、悪いことをしそうになったりした時はすぐにお父さんお母さんにお話ししましょう。

そしてお父さんお母さんにお祈りをしてもらいましょう。これでお話を終わります。ありがとうございました。